

共用品推進機構だより 2015年11月20日(30)

目次

(136) 共用品推進機構関連記事

▽「医療の世界にもひろがっている、『共用品』って何？」

▽「ブログを更新しました！」

(137) 製品関連記事

▽「2015年度グッドデザイン大賞 誰もが乗りたくなる『次世代型電動車いす』
／WHILL」

▽「2015年度グッドデザイン賞 誰もが安心して通れる屋内用の点字ブロック
／田島ルーフィング」

▽「弱い力でも開けられる／サカモト」

(138) 新刊紹介

▽『発達が気になる子の「ステキ」を伸ばすかわり方
家庭や地域でできるポジティブ発想』

▽『大人のアスペルガー自閉症スペクトラム障害ビジネスシーン別会話メソッド
コミュニケーション力ががぜん高まる』

▽『泣いて、笑って、また泣いた』

(136) 共用品推進機構関連記事

▼「医療の世界にもひろがっている、『共用品』って何？」

「共用品」という言葉を聞いたことはありますか？これは、“障害の有無にかかわらず”“多くの人が共に”使いやすい製品やサービスを指すものです。「福祉用具」と「一般製品」の重なる部分に位置しており、日本発の概念です。

共用品には、生活に”おなじみ”になったものが数多くあります。例えば

温水洗浄便座は、医療・福祉用具として生まれたものが日本で独自の発展を遂げ、広く普及したものの。また、シャンプーボトル側面と上部につけられた“ギザギザ”は、視覚に障害のある方が触って判別できるように工夫されたもので、誰にとっても便利のため、メーカーの垣根を越えて定着してきています。

医療の世界でも、「音声血圧計」「呼び出し装置」「簡易筆談器」など、すでにさまざまに登場しています。

じつは看護に近い思想を秘めている、“みんなにやさしい”共用品。ちょっとした気づきとともに取り入れれば、日々の看護に役立てることができそうです。

(エキスパート ナース 2015年10月号より抜粋)

▼「ブログを更新しました！」

- ・中国・広州「第2回中国国際シルバー産業博覧会」見学
 - ・中国旅行記-広州編
 - ・中国旅行記-香港編
- 共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

(137) 製品関連記事

▼「2015年度グッドデザイン大賞 誰もが乗りたくなる『次世代型電動車いす』 ／WHILL」

パーソナルモビリティ「WHILL Model A」。「100m先のコンビニに行くのをあきらめる」一人の車いすユーザーのこんな言葉からWHILLの開発は始まりました。100mというわずかな距離を移動する際にも、社会的な不安や物理的なリスクを感じている人がいる。スマートで機能的なモビリティがあれば、その人らしく、行動範囲を広げられるのでは。そんな思いから開発は始まりました。車いすユーザーの人も、そうでない人も乗ることができる、乗ってみたいと思える、まったくあたらしいカテゴリーの「パーソナルモビリティ」です。※介護保険レンタルも対応しています。

(朝日新聞 11月15日21面より抜粋)

▼「2015年度グッドデザイン賞 誰もが安心して通れる屋内用の点字ブロック
／田島ルーフィング」

屋内用視覚障がい者誘導用床システム「UDフロアシステム」。視覚障がい者を安全に誘導する点字ブロックは、歩道や通路、駅のホームなどで設置が進む一方、屋内では入り口付近やエレベーター前を除けば、ほとんど未設置のまま。高さ5mmに規定された点字ブロックが、かえって歩行者のつまずきを誘発しかねないため、この「UDフロアシステム」では高さを2mm以下に抑えた独自の突起形状をデザイン。視覚障がい者には白杖で検知しやすく、高齢者や車いす、ベビーカーなどの通行の妨げにもならない。

(朝日新聞 11月15日21面より抜粋)

▼「弱い力でも開けられる／サカモト」

ペットボトルのキャップを簡単に開けられる「My(マイ)アプリ Cap(キャップ)」。本体をキャップの上からはめて回すだけで簡単に開けられ、しっかり閉めることができる便利グッズ。高齢者など握力の弱い人に便利。天面のデザインはインターネットから好みの写真などを利用してオリジナルデザインをオーダーできる。

(日経MJ 11月18日12面より抜粋)

(138) 新刊紹介

▼『発達が気になる子の「ステキ」を伸ばすかわり方
家庭や地域でできるポジティブ発想』

丁寧に伝えているのにわかってもらえない、食べこぼしがひどい、きょうだいがかまってもらえないさびしさを訴える…。そんな発達が気になる子の「ステキ」を伸ばし、力を発揮できる子に育てていくためのヒントを紹介する。

著：加藤潔(かとう・きよし)

発行：明石書店

本体価格：1600円(税別)

ISBN：978-4-7503-4259-7

▼『大人のアスペルガー 自閉症スペクトラム障害

ビジネスシーン別会話メソッド コミュニケーション力ががぜん高まる』

誤解されやすい、接客が苦手…。そんな悩みを打開！アスペルガー症候群や自閉症スペクトラム障害の特徴を持つ人など、職場でのコミュニケーションの悩みを抱える人のために、コミュニケーションの基本をシーン別に解説する。

著：司馬理英子（しば・りえこ）

発行：主婦の友インフォス情報社

本体価格：1500 円（税別）

ISBN：978-4-07-413446-5

▼『泣いて、笑って、また泣いた』

透恵は統合失調症に罹患している。透恵と同じ会社には発達障害の人もいる。会社にいる人の半分が健常者、半分が障害者なのだー。自身が勤める会社をモデルに、統合失調症を抱えて働く現代の女性の姿を等身大で描いた小説。

著：倉科透恵（くらしな・ゆきえ）

発行：ラグーナ出版

本体価格：1200 円（税別）

ISBN：978-4-904380-45-1

（編集後記）

（編集後記）

今年度も、日本福祉大学通信教育のスクーリングにて講義をさせていただきます。今年の会場は沖縄と東京です。

既に沖縄では講義を終えています。その時にあった出来事を一つ。

星川専務理事が数年前、沖縄在住の方に「沖縄の牛乳パックには切欠きがない」と、ご連絡を頂いたことがありました。今回、参加した学生に尋ねてみると、やはり見たことがないとのこと。

本当はないのか真実を探るべく、講義終了後に近くのコンビニエンスストアを訪ねてみました。すると、一種類だけですが、しっかりと切欠きがついている牛乳パックがありました。

翌日、学生にこの小さな工夫を伝えるととても喜んでくれました。
小さなことかもしれませんが、発見を共有し、共に喜べる人達がいることは、
本当にありがたいことだなと感じました。(森川美和)

<http://www.kyoyohin-news.org/archives/52010170.html>

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>